



VIA AIR MAIL
CORREO AEREO

Professor and Mrs Hideki Takawa
6 Izumika-wa-cho, Sakyo-ku.
Kyoto, Japan

京都市左京区
下鴨泉川町六
湯川秀樹先生様

PAR 3P
AVION

S. Okubo
Department of physics
University of Rochester
Rochester N.Y. 14627



VIA AIR MAIL

湯川先生御夫妻様

先日は御年賀状をいただき味増すのを色々と御送り頂き

まして誠に有難う存じます。

先年の十二月と今年の一月とをバオスタンとインソに過し

また次第で数日前にワッペスターに歸宅して坂先生

よりの御手紙と御贈物を始め御見一して誠に恐縮

致しました。事はインソの歸り今二月の始めに東京に約

一週間程立ち寄りたので何か何分と忙しく、京都に先生

の許に御挨拶にも行かれず、何と申一訳け御座居ません。

御禮と御詫言ひとを兼ねて何と申失禮の限りとは存じま

すが、この手紙を書く次第に存じ一して御許一下せり。

只今アメリカの一部の物理学者にて、ユタの宇宙線の高エネルギー

判りのミュー・中間子の異常性の実験に於いて、色々の想像が

なされて居りて居ります。実験結果を信用しますと、 100 MeV の高

エネルギーのミュー・中間子が π や K がその崩壊して居る。

事はこのような理論はワッペスターで数年前に考へたので、この

理論に於いて W の項の相互作用は弱く、 W のベアーの相互作用は

強くと実験に予備せず、ユタの実験を説明できます。尤も

ユタの実験もそれ程統計が良くないので、これ程信用出来ず

か否は疑問で、これにその説明もまだ他に良い解があるかも知

知れません。かゝる言へませんが、小生はこれと W の破とを結

つける事を今考へて居ります。勿論このような理論は只今、先生

が在るうちにこの理論に於いて本質的な深い意味はありま

せんが、何が将来の理論の一つの手掛りになるか、これは

期待して居ります。二月十九日、大久原 健